

社会を変えていくこと

長久手市立北中学校

二年 納谷 花

私が伝えたいことはこの町の信号についてです。信号が必要な場所に、信号を設置してほしいです。

私の家は車が沢山通る道路に面しています。私は、その道を家のそばで横切る人を多く見かけます。でも、そこには信号がありません。道路を横切っている人を見てみると、危ないと感じることがたびたびあります。実際、近所の方から、事故も何度か起きていと聞きました。

だから、私は事故が起きていても、多くの人が道路を横切るのはなぜか、そして、事故が起きていても信号がつかない理由はなにか、どうすれば信号が設置されるのかについて整理して考えました。

事故が起きていても、多くの人が信号のない道路を渡ってしまうのは単純に「近道」だからです。駅に行くにも、みんなの集う公園

に行くにも、信号のある場所まで歩いて渡るより、信号のない道路を横切った方が早く着きます。

そして、一度近道を理由に道路を横切り、何のトラブルもなければ、次も同じように近道をする人が多いのではないのでしょうか。

次に、事故が起きても信号がつかない理由を両親に聞きました。

「信号は一定の間隔を空けて設置する必要がある。そうしないと渋滞が発生してしまう。」という答えでした。

それを聞いて、私はそれまで車側の事情を考えることが出来ていなかったことに気がつきました。両親が教えてくれたことによって、新しい視点から考えることができ、信号を設置するために、クリアしなければならぬ課題も見つけることが出来ました。

私はこれらの理由、課題からどうすれば信号をつけることが出来るのか考えました。

まわりを見渡すと、数十メートル北に信号があります。この信号を利用する人が多いかといえ、私は少ないように感じます。です

から、信号の設置位置をもう一度見直してみるのはどうかと思いました。

さらに、渋滞を防ぐために、「ボタン式信号機」を設置するということが考えられます。「ボタン式信号機」を設置すると、歩行者が渡りたい時にボタンを押して通行することが出来ます。その時だけ車が停まるので、渋滞を防ぐことが出来ます。

それを実現するためには、警察署の交通課に相談する必要があります。この町に住んでいる私たちが一番地域の現状を知っています。ですから、私たち住民が伝えることが不可欠だと思います。また、私一人の意見ではないことを伝えることも重要でしょう。

私の家のそばには飲食店や美容院などのお店が沢山あります。だから、お店の方に意見を聞くことや、お店の方に協力してもらい、お客さんに意見を聞いてもらうことが出来ると思います。そうすれば、私がそれをまとめ、交通課に提出できます。

要望の多い場所に信号機がつけば、歩行者が巻き込まれる事故も減り、より安全になる

と思います。

私たちが住む町には、ここで取り上げたような状況の道路が多くあります。私はそのような場所を減らし、少しでも、いいえ、もっと住みやすい町に変えていくために、信号が必要な場所に必要に応じて付くようになることを願います。

それを実現するためには、この町の現状を知っている私たち住民が声を上げていくことが大切だと、もう一度伝えたいです。